

高速道路建設・整備促進等に関する決議

全国高速自動車道市議会協議会は、第四十五回定期総会において別記のとおり満場一致決議いたしましたので特段の措置を講じられるよう強く要望いたします。

決 議

高規格幹線道路等により形成される高速道路ネットワークは、流通や観光等による経済効果をもたらすほか、地域間交流を活性化させるなど、個性豊かで活力に満ちた地域社会を実現するとともに、地方創生を支える重要な社会基盤である。また、救急患者の搬送時間の短縮等により、広域救急医療を支えるほか、震災などの災害発生時には、救援、復旧活動のための緊急輸送路として使用されるなど、「命の道」としての役割を果たしている。

しかしながら、高規格幹線道路の供用率は全国で八割を超えたものの、連続したネットワークが形成されていないため、効果が最大限に発揮されていない状況にある。また、全国に比べ整備が大幅に遅れている地域もあり、いまだ未整備区間が多く残されている。

このことから、高規格幹線道路の早期整備に向けた必要財源の確保、施策の充実強化、高規格幹線道路を補完する地域高規格道路の早急な整備などが求められている。さらに、既存の高速道路の一層の機能向上と効果的・効率的活用への推進が課題となっている。

また、高速道路の整備の推進と同時に、既存の道路施設の老朽化対策等の推進が急務となっている。

よって、本協議会の総意をもって、特に次の事項について強く要望する。

記

- 一、高規格幹線道路網一万四千キロメートルの早期整備に向けた明確な方向性を示すとともに、長期安定的に道路整備等を実施できるよう財源確保に万全を期すこと。
 - 一、ミッシングリンク解消及び暫定二車線区間の四車線化の早期実現を図ること。
 - 一、既存の高速道路ネットワークの更なる機能向上と最適利用の推進を図ること。
 - 一、インターチェンジ及びスマートインターチェンジの一層の整備促進を図るとともに、サービスエリア及びパーキングエリアの整備、防災拠点化を図ること。
 - 一、橋梁やトンネル等の老朽化する道路施設の適時適切な維持管理・更新が実施されるよう、十分な財源を確保すること。
 - 一、高速道路をまたぐ跨道橋の適切な維持管理が可能となるよう、十分な支援措置を講じるとともに、災害時の緊急輸送道路の機能確保のため、高速道路の耐震強化を図ること。
 - 一、高速道路等における重大事故を防止するための万全の安全対策を講じるとともに、緊急時における迅速な対応のため、救急車退出路及び緊急進入路の整備推進並びに関係機関との連携体制の強化を図ること。
- 右、決議する。

平成三十一年二月六日

全国高速自動車道市議会協議会 第四十五回定期総会

会長 石 倉 彰

(魚津市議会議長)